

## HUSB-CPD434v2 から HUSB-CPD434U/ HETN-CPD834T/HWIF-CPD834W への移行手順について

HUSB-CPD434v2 から、HUSB-CPD434U/ HETN-CPD834T/HWIF-CPD834W への移行手順について説明します。  
HUSB-CPD434U/ HETN-CPD834T/HWIF-CPD834W は Windows7 SP1 以降の OS に対応しています。

### 1. USB インターフェース使用時

対象旧ボード：HUSB-CPD434v2

対象新ボード：HUSB-CPD434U/ HETN-CPD834T/HWIF-CPD834W

- ① 旧ドライバ（HUSB-CPD434v2 用ドライバ以下 2 点）を“アプリと機能”から削除します。
  - ・Windows ドライバ パッケージ - Hivertec HUSB-CPD434 …”
  - ・Windows ドライバ パッケージ - Hivertec HUSB-CPD434v2 …”
- ② 新ボード添付 CD 内の Usb フォルダ内にあるドライバをインストールします。

新ボードを旧ボード用プログラムでリビルド無しで動かすことが可能です。（旧ボードと新ボードの両方が使用できます。）

尚、新ボードで追加された機能を使用するには、アプリケーションを再開発する必要があります。

- VC/VC++使用の場合  
プログラム内の hucpd430.lib または hucpd430x64.lib（64ビット版）を新ボード用 CD の Usb フォルダ内 Include¥vc にある同名ファイルを差し替え、追加された機能を実装します。  
（VB、VC#の場合はファイルの差し替えは不要です）

## 2. Ethernet/WiFi インターフェース使用時

対象旧ボード：HUSB-CPD434v2

対象新ボード：HETN-CPD834T(Ethernet) /HWIF-CPD834W(WiFi)

- ① 新ドライブ添付 CD 内の Ethernet フォルダ内にあるドライバをインストールします。
- ② 旧ボード用に作成したプログラムを新ボードの Ethernet インターフェースで動作させるには以下ファイルの差し替えが必要です。
  - VC/VC++使用の場合・・・プログラム内の以下ファイルを差し替え
    - ・hucpd430.lib (32 ビット版のみ) → hencb830.lib
    - ・hucpd430x64.lib (64 ビット版のみ) → hencb830x64.lib
    - ・Hucpd430.h → Hencb830.h
    - ・Cp430l1a.c → Et830l1a.c
    - ・Cp430l1a.c.h → Et830l1a.h
  - VB 使用の場合・・・プログラム内の以下ファイルを差し替え
    - ・hucpd430.vb → hencb830.vb
  - VC#使用の場合・・・プログラム内の以下ファイルを差し替え
    - ・Hucpd430.cs → Hencb830.cs
- ③ USB 用プログラムの「ボード枚数 & デバイス情報取得」から「デバイスオープン」までの処理を、Ethernet フォルダ内にあるサンプルプログラムを参考にコードを書き換えます。

(VC の場合の例)

```
-----  
// 常駐プログラムリンク設定 (自動検出)  
het830_ProgLinkSet (0, "", 0);  
  
// ボード枚数 & デバイス情報取得  
het830_GetDevInfo (&gCnt, &gHetnDevInfo [0]);  
  
// デバイスオープン  
het830_DevOpen (gDevTyp, gBrdId);  
-----
```

- ④ 各関数のプリフィックスを cp430→et830, hcp430→het830 へ変更します。
- ⑤ リビルドします。
- ⑥ プログラムを実行するには「常駐プログラム」が起動している必要があります。  
常駐プログラムの詳細につきましては「ユーザーズマニュアル 導入編」をご覧ください。

以上